

二〇五九番

天あまの川がは 波なみは立たつとも 我わが舟ふねは いぞ漕こぎ出いで
む 夜よのふけぬ間まに

二〇六〇番

ただ今こよひ夜 逢あひたる見こらに 言ことば問とひも いまだせ
ずして さ夜よそ明あけにける

二〇六一番

天あまの川がは 白しら波なみ高たかし 我あが恋こふる 君きみが舟ふな出では 今いま
しすらしも